

令和7年7月18日

大山町議会議長 吉原美智恵 様

大山町議会議員 大原 広 巳

### 令和7年大山町議会議員研修報告書

1	研修名	西部町村議会正副議長、局長合同研修会
2	日時	令和7年7月16日(水)
3	出席者	吉原議長、大原副議長、野間局長
4	研修地	日野町地内 ①金持神社 ②瀧山公園 龍王滝 ③日野町リノベーションLab ④日野町山村開発センター
5	研修内容	①金持神社 ②瀧山公園 龍王滝；観光施設見学(10:00~10:50)
		③日野町リノベーションLab；研修(11:00~11:50)
		④日野町山村開発センター；事例研究(13:30~15:40)
6	研修結果 又は概要 (意見・感想)	<b>①金持神社</b> 金持神社への年間参拝者数は約20万人で、県外からも平日休日問わず多くの方が参拝に来られる。 <b>②瀧山公園 龍王滝</b> 初の桜やつつじの名所としても有名な公園。 現在、滝つぼ周辺は落石の恐れがあるため立ち入り禁止のため、瀧山公園の展望休憩所で、日野町議会 松本副議長が写真の資料などを交えて、周辺施設の説明を受けました。瀧山公園周辺では、世界最小のトンボの一つで、鳥取県の絶滅危惧種にもなっているハッチョウトンボが生息しており、多くの方が観察に来れるとのことなどたくさんの興味深い説明を受けました。



### ③日野町リノベーションL a b

日野町役場 企画政策課 川上 宏 氏

日野町リノベーション Lab（ラボ：研究所）とは、地域の課題の研究所として、閉校となった旧黒坂小学校を改修し拠点に、「人材育成」「持続可能な地域づくり」「黒坂小学校のリノベーション」の3つの柱を軸に、研究機関や大学などと協働で、地域のためのアイデアを形にする共同研究や人口減少・地域課題を解決するためのプラットフォームづくりに取り組んでおられます。

令和5年3月には、日野町と農林水産政策研究所における日野町リノベーション Lab に関する包括連携協定書を交わし、人口減少や高齢化に対応した持続可能な地域づくりを図るため、中山間が抱える諸課題の解決に向けた調査研究を実施しておられます。

また、住民参加型の「住民 Lab」では、住民が自ら地域課題について、実験や取り組みを行うチームで、青パイヤ研究会 Lab などのグループ Lab や子どもが活動するこども Lab、高校生のグループの高校生 Lab や集落単位で活動する集落 Lab などがあり、それぞれが、課題や趣味などを通じてグループを形成し、研究所として独自に活発に活動されている状況が伺えた。

取り組みの目的として、これらの活動を通して、心に残る思い出を残し、つないでいくことが人づくりにつながり、日野町からいったん都会に出てもまた故郷に戻ってくる人材づくり（鮭）と、また、一度も地元から出ることなく、地域を守り次世代につなぐ人材について（ヤマメ）を鮭とヤマメづくりとして、人口減少対策に取り組んでいるとのことでした。



#### ④事例研究

各町村から議会運営での課題等について事例を挙げ、各町村議会の実態等について、意見交換を行った。主な討議事例は次の通り。

##### **【教育委員などの任命同意を、全件、無記名投票で採決】**

(日野町議会より)

＝まとめ＝

日野町議会では、教育委員、農業委員、人権擁護委員の任命の同意について、全件、無記名投票を行っているが、他町村の採決方法はどうか。投票を行っているのは日野町議会のみで、あとは起立採決とのことで、日野町議会ではこの状況を踏まえ検討したいとのことだった。

##### **【意見書の発議者が、趣旨説明の後、改めて賛成討論をするについて】**

(日南町議会より)

＝まとめ＝

発議者は、趣旨説明をした後、改めて討論には立たない申し合わせ（日野町・大山町）。認めている（南部町・伯耆町）

見解としては、「禁止規定はないので認められる」「討論の要求があれば許さない理由はない」と認める見解の一方、「理論上は可能だが性質上望ましくない」との見解があるとのこと。また、衆議院は認めていて、参議院は認めていないというように国会でも差があるようです。各議会で判断を。

##### **【委員会で不採択とした陳情を、委員長が委員長報告後に一議員として賛成討論をすることについて、慎むような申し合わせについて】**

(大山町議会より)

＝まとめ＝

大山町では、委員長報告をした後で、委員長が一議員として討論に立つことは慎むような申し合わせをされている。

よって、委員長（個人としては賛成）は委員会報告で不採択の報告をしたのち、賛成討論には立たず、採決で起立することとしている。

他の町村議会では、そのような事例はないとのことだった。

##### **【選挙管理委員会の選挙において、議長の指名推選において、住所を番地まで読み上げているか。】**

(大山町議会より)

＝まとめ＝

大山町では、選挙において個人が特定できるよう番地まで読み上げている（大山町と伯耆町）。他町村は氏名のみとのことだった。

